

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎区第1グループ(旭町・日進町・渡田)	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	子ども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H26		H27		H26		H27	
	1 旭町子ども文化センター ①年間延べ利用者数	33,440人	33,364人	②年間延べ利用団体数	778団体	926団体		
2 旭町小学校わくわくプラザ ①登録者数	200人	210人	②年間延べ利用者数	13,056人	14,819人			
3 宮前小学校わくわくプラザ ①登録者数	386人	362人	②年間延べ利用者数	25,358人	25,533人			
4 旭町子ども文化センター児童ホール ①登録者数	9人	4人	②年間延べ利用者数	1,444人	736人			
1 日進町子ども文化センター ①年間延べ利用者数	27,726人	28,874人	②年間延べ利用団体数	408団体	346団体			
2 川崎小学校わくわくプラザ ①登録者数	297人	297人	②年間延べ利用者数	21,447人	25,164人			
3 京町小学校わくわくプラザ ①登録者数	190人	160人	②年間延べ利用者数	11,262人	9,724人			
1 渡田子ども文化センター ①年間延べ利用者数	23,571人	24,766人	②年間延べ利用団体数	157団体	181団体			
2 田島小学校わくわくプラザ ①登録者数	161人	161人	②年間延べ利用者数	10,733人	10,210人			
3 向小学校わくわくプラザ ①登録者数	195人	198人	②年間延べ利用者数	13,661人	14,795人			
収支実績	単位:円							
	1 収入							
	指定管理料	162,367,910						
	2 支出							
	人件費	135,089,920						
	管理費	11,141,017						
	事務経費	8,054,189						
	その他経費	4,698,100						
	合計	158,983,226						
	3 差引	3,384,684						
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、活動や運営に反映。事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など地域を超えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、子ども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		子ども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由)子ども文化センター、わくわくプラザともに仕様書及び事業計画書に沿って事業を適正に実施した。区内に川崎市立川崎高等学校があることから、同校と積極的に連携し、第1グループ合同事業として、「なかよし♪ドレミ♪音楽会」や「食育おでかけ講座」を実施し、その他の事業においても高校生のボランティアを受け入れる等行ったため、特に高校生の利用者が増加し、子ども文化センターの年間利用者数(3館合計)も前年度より増加した。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続 効率的・効果的な支出	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
		計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
	支出に見合う効果が得られているか				
(評価の理由)会計処理・金銭処理については適正に行われている。受託20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取り組みによる経費削減を図った。また、冷暖房効果を高めることによる節電などにも取り組んでいる。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	子ども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
<p>(評価の理由) 施設・事業の広報については、利用パンフレットやたよりを発行し、近隣に配布、施設案内や毎月の活動を周知するとともに、ホームページによる利用案内や事業周知を行った。特に、日進町子ども文化センターでは中学生・高校生向け、渡田子ども文化センターでは中学生向けのたよりを発行し、周知を図るなどし、中高生の利用向上が図られた。利用者への対応については、初めて来館する利用者には、館内を案内したり、リーフレット等を配布するなど、利用しやすい環境づくりを行い、特別な配慮を必要とする児童への対応のため、巡回相談員やタイムケアの実施団体との情報共有や職員研修を行った。運営協議会及び保護者懇談会の実施については、こ文各施設とも運営協議会を年間1回、わくわくプラザ各施設とも、保護者懇談会を年間3回実施した。学校及び行政機関との連携については、川崎区役所、社会福祉協議会、町内会・自治会、小学校・中学校・高等学校、PTA等と連携し、各施設とも管轄の小学校と連携し、メール配信による子どもの安全に関する情報の共有を図ったほか、特に、第1グループ合同事業(「なかよし♪ドレミ♪音楽会」や「食育おでかけ講座」)において、川崎高等学校との積極的な連携が行われており、高校生の利用者増にもつながった。利用者ニーズについては、事業実施後のアンケートや館内設置の意見箱等から適宜把握し、実行計画を作成して、実行可能なものから順次対応していること、特に、旭町子ども文化センターでは乳幼児親子専用プレイルームに設置した専用ノートや、館内の意見箱に寄せられた利用者からの意見に対してはすべて回答するなど、きめ細かな対応を図っている。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	川崎市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例第54条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		子ども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	4	8
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 適正な人員配置については、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正に職員が配置され、利用児童数や特別な配慮を必要とする児童などの状況に応じて、適時、職員を加配しており、円滑な事業運営が行われた。研修体制については、法人全体の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的な研修が行われていた。特に、川崎区内の子ども文化センターでは、中学生死亡事件等を踏まえ、区合同研修として、問題を抱えた児童を対象とした「主任講師体験研修」、「不登校児対応研修」を行い、グループとしても「中学生・高校生対応研修」を行う等、更なる研鑽を行っていた。個人情報等の取扱については、運営法人で個人情報保護方針等を規定し、職員だけでなく利用者にも館内掲示により周知するなどして、適正に取り組んだ。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来さずことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか			
	利用者の安全確保	事故等が発生した場合に適切な対応をしているか	5	3	3
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	3	3
災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか					
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 施設・設備の安全点検を実施するとともに、館内掲示により利用者にも周知した。各施設では防災対応マニュアルを作成し、消防訓練を各施設で年間2回実施するとともに、避難訓練を学校と連携して行った。また、津波避難施設に指定されている旭町子ども文化センターでは、津波を想定した訓練を行った。渡田子ども文化センターでは、避難経路の掲示を見直し、利用者の防災意識を高めた。衛生管理については運営法人のマニュアルに基づき行うとともに、職員研修等で情報共有し結果、感染や食中毒等の発生はなかった。防犯に関しては、利用者との協働で安全マップを作成して館内に掲示することで、利用者の安全意識を高めた。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している。学校や行政、地域の各団体等と連携した事業展開を行っており、特に、区内に川崎市立川崎高等学校があることから、同校と連携した事業を積極的に行っており、高校生の利用率増加につながっている。また、区内で発生した中学生死亡事件を受け、問題を抱える中学生・高校生に対する研修を区合同で行う等、今後、ますます重要となってくる中高生の居場所づくりを見据えた、職員のスキルアップを図る等、地域社会全体で子どもを見守り育て、安全・安心な居場所の一つとしての役割を十分担っているとと言える。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

子ども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキル向上の継続的な取り組みに努め、利用者にとって各施設がより居心地の良い場となることを期待する。また、協定書等の規定に従い、会計に関する規定の整備等を適正に実施することが必要である。